

当院を受診された患者さんへ

「腎がん患者における ICI+ICI 治療および ICI+TKI 治療に関する研究」 への協力をお願い

薬剤部では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年9月から2022年3月の間に、当院において、ICI+ICI 治療または ICI+TKI 治療を受けられた方

研究期間：岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日～ 2022年12月31日

研究目的・利用方法：

近年の腎がん治療は、イピリムマブ+ニボルマブの免疫チェックポイント阻害剤（ICI）併用療法をはじめ、チロシンキナーゼ阻害剤（TKI）との併用療法が次々に承認され、1次治療から使用できるようになった。しかしながら、使い分けの指標は未だ示されていない。また有害事象も多く、発現時期なども様々で対応には困難を極めている。

そのため患者の臨床検査データなどを後ろ向きに解析することで、患者に有益な治療を提供することが出来る指標を検討するとともに、薬剤師の介入による効果を確認する目的で調査を行う。

研究に用いる試料・情報の種類：

- ① 患者情報：年齢、性別、PS、IMDC リスク分類、転帰など
- ② 投与開始日、投与量、投与期間など
- ③ 併用した薬剤など
- ④ 検査値：WBC, RBC, Hb, Plt, Neu, ALT, AST, クレアチニンなど
- ⑤ 副作用など
- ⑥ 薬剤師による介入実績と臨床反映率など

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

【連絡先・研究責任者・相談窓口】

岐阜市民病院 薬剤部

〒500-8513

岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地

Tel : 058-251-1101

氏名 : 堀 晃代